

に 仁方小だより

第10号
令和8年9月14日
呉市立仁方小学校

校内リフレッシュ

先週1週間かけて、体育館と校舎内の電気設備をLEDに取り換える工事が行われました。蛍光灯を付け替えても点灯しなくなるような不具合もあり、暗い教室でしばらく我慢してもらったこともありました。これからはそのような心配もなくなりそうです。

学習発表会では、LEDに取り換えた体育館で演技を見ていただきます。今までできなかった演出もできるかもしれません。どうぞ楽しみに。



体育館の工事の様子

リフォーム活動 ありがとうございました！

たくさん参加してくれた子どもたち!ありがとう!!

9月12日(土) ぽつぽつと雨が降り出す天気ではありましたが、南校舎前の側溝の土あげとトイレ掃除を行ってくださいました。皆さんの手際が良く、みるみる土があげられ、きれいになっていきました。トイレも、これまで子どもたちだけではなかなか行き届かなかったところを隅々まできれいにしてくださいました。ありがとうございます。



最後に、左側写真の手袋の忘れ物がありました。学校で預かっていますので、ご連絡ください。



6校球技大会お疲れさまでした！

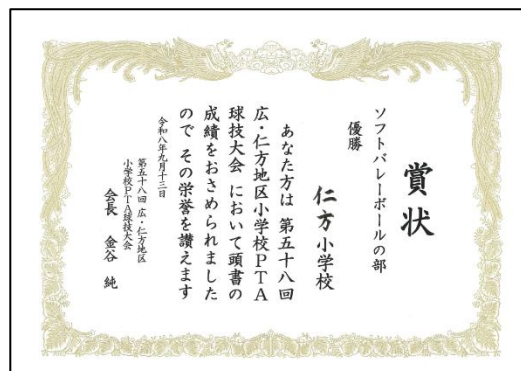
9月13日(日)は、広・仁方地区小学校PTA球技大会が開催されました。今年で、この大会に参加するのも最後になりましたが、ソフトバレーボールチームは最後に有終の美を飾り、優勝しました！おめでとうございます。ソフトボールチームには、令和5年度までいらっしゃった中西先生も、OBとして参加してくださいました。



1回戦は、大量得点で勝利しましたが、惜しくも2回戦で敗れてしまいました。

どちらの試合も、大変盛り上がった試合でした。

Google Classroomでご覧の方は、リフォーム活動と6校球技大会の写真をアップしていますので、そちらもご覧ください。



青い目の人形シリーズ 4

校長室にある資料から

校長室の棚の中には、「世界児童親善会寄贈 ルーズ・ナオミさん」と書かれた木箱が残っています。その横に書かれている学校名、仁方尋常高等小学校(仁方小学校)は、明治30年4月1日～昭和16年3月31日の学校で、廣東尋常小学校(旧小坪小学校)は、明治25年5月18日～昭和16年3月31日の学校なので、この木箱は、ルーズ・ナオミが日本にやってきた昭和2年～昭和16年の間に作られたものと考えられます。箱の横には、「箱 仁方町 湊 從三(旧字体のためおそろく)氏寄贈」と書かれています。何かお分かりの方がいらっしゃいましたら学校までご連絡ください。

また、昭和52年5月17日と昭和53年8月15日の新聞が残っていました。新聞記事によると「昭和40年ごろ、校舎改築のとき、倉庫の奥深く眠っていたのを板垣美恵教諭が見つけた。長い年月を経た人形にはほりがつき、衣類は虫に食われていた。同教諭は、48年6月、同校の百周年記念式典で全校に披露。衣服の痛みを繕って、「日の目」を見た人形に、児童たちは歓声をあげた。」とあります。また、翌年の終戦記念日には、東京で「青い目の人形展」が開かれ、仁方小の「ルーズ・ナオミ」も展示されたそうです。

その後、昭和63年の朝日新聞でも、板垣先生とルーズ・ナオミの再開の記事が紹介されています。そこには驚きの内容も。これはまた次回のお楽しみに。

